



【校訓】 自立 不屈 進取

平成29年度

2月号

H30.2.16発行

合唱とダンスとボランティアと

校長 前田 浩二

「歌声あふれる学校」は、私の理想の学校です。1月20日(土)伊集院文化会館で行われた県中学校音楽コンクール春の祭典に2年1組が出場し、すばらしい歌声を聴かせてくれました。大舞台に見ている方が緊張しましたが、生徒たちは見事な指揮、伴奏、ハーモニーを披露し、感動いっぱいでした。しかし、今年1年間、合唱で感動したのは2年1組だけではありません。校内合唱コンクール、市音楽祭、キャリア教育研究公開オープニングと、ことあるごとに美しい歌声を聴かせてくれました。合唱は学級をひとつにします。それぞれの心が和みます。これからも、校内のあちらこちらから歌声が流れてくる学校であってほしいと思います。

2月2日(金)には、3年1組の保健体育ダンスの研究授業がありました。現在の教育課程では、ダンスは必修です。実はこのダンスこそ、運動好きを増やすトップ種目だと思っています。運動の苦手な人も、リズムに乗って楽しみながら全身運動ができ、勝ち負けもないので、失敗したからといってチームメイトから責められることもありません。ただ、恥ずかしがるとできない種目でもあります。思春期の中学生、特に男子生徒には難しいかもしれないと思いながら授業を見ると、そんな心配は全く必要ありませんでした。グループごとに自分たちで考えた振り付けで伸び伸びと楽しそうに踊っていました。練習の時からお互いに声を掛け合い、とてもいい雰囲気でした。こんなダンスの授業ができる本校の生徒はすばらしいと感じました。

また、先日開催された枕崎新春かつおジョギング大会には、ボランティアとして8人の生徒が参加しました。主な業務は、ゴールした選手のICタグを取り外すことでした。しかし、この8人は、それだけでなく、苦しそうに走ってくる選手には、「もう少しでゴールです。がんばってください。」と励まし、ゴールした選手には、「おつかれさまでした。」と温かい声を掛けていました。見ているこちら心も温かくなりました。「人のために何ができるか」を考えて行動できる人になってもらいたいと常々思っていますが、8人の姿にうれしくなりました。

以上、合唱とダンスとボランティア、最近目にした心温まるうれしい話題です。

立神の如く

<最後の詰め>

3月6日・7日、いよいよ公立高校の入試が行われる。不安に駆られていたり、あるいは逆になめてかかったり、勉強が手に付かない人はいないだろうか。

北九州市八幡に住んでいた私は高校3年の1月、大学受験に挑んだ。当時は共通一次試験という、今のセンター試験のようなものがあった。その共通一次試験の模擬テストを大手予備校

が主催し、希望者は無料で受けられるということだったので、友達2人と申し込んだ。しかしその模擬テスト、元日に行われるものだった。

その日私たちは、模擬テスト会場のある小倉に向かったものの、正月の華やぎに負けた。晴れ着をまとい、楽しそうに歩く人々を見ながら、いつしか、「正月からテストなんかやっとならね。模擬テストを受けたからといって、急に学力がアップするわけじゃなかろう。そんなことより、神様に合格のお願いに行けばいい。」ということになった。我々はテスト会場には行かず、小倉祇園太鼓で有名な八坂神社に初詣に向かった。合格祈願をした後、運試しにそれぞれおみくじを引いた。私の運勢は「凶」であった。友達も良い運勢ではなかった。我々は、「共通一次試験を前にこらあいかん。あともう一社詣でに行けばいい。」と、関門海峡を渡り、平家一門を祭っていることで有名な本州下関の赤間神宮までわざわざ行くことにした。そこで、合格祈願の後、再度おみくじを引いた。「凶」であった・・・。

八幡に戻り、友達と別れた後、家には帰らず、自分だけ、こそこそと近所の神社へと向かった。福岡では正月に3つの神社に参る風習がある。「やっぱり正月は三社詣をせんといかんばい。」とつぶやきながらおみくじを買った。今度こそ「吉」ぐらいは出るだろうと思って開いてみると、「やることすべて悪し」と書かれていた・・・。

その年、私たちは3人とも大学に入学することはできなかった。

私がこの失敗から学んだことは、「おみくじはよく当たる」ということではない。やはり、「大事の前の油断は禁物である」ということである。もし本当に神様がいらっしゃるならば、大事な試験を前に、たるんだ気持ちの私に戒めを与えてくれたということではなかろうか。

さて、公立高校入試を目前にし、受検生のみなさんはどのように過ごしているだろうか。「倍率が低いからもう勉強しなくていいかも」とか、「今さら必死に勉強しても日数も少ないから学力はアップしないでしょう」とか、気持ちがゆるんだり、自分に言い訳をして不安な気持ちをごまかしている人はいないだろうか。油断大敵、何事も最後の詰めが肝心である。

最後の詰めとは、勢いを途切れさせないことにあると思う。勢いは勢いを生む。最後の詰めこそが大きく実力を伸ばすチャンスだと思う。最後の最後まで、真剣に、粘り強く勉強に取り組み、受検に臨んでほしい。合格を祈っている。

(前田浩二)



おめでとう

- 第51回鹿児島県中学校音楽コンクール「春の祭典」銀賞
- 第31回新春颯娃ロータリー杯中学校バレーボール大会 3位
- 第41回枕崎新春かつおジョギング大会 4km中学生男子 3位 田畑優駿
- 第18回南さつまオープンバドミントン大会 女子B級 優勝 俵積田桃・井上愛唯 準優勝 寺田彩乃・上村陽芽奈

入学説明会

新1年生の入学説明会を1月23日に行いました。先輩らの寸劇による中学校の紹介や国語の体験授業をしました。制服の採寸もあり、入学の準備万端です。4月6日の入学式が楽しみです。



心肺蘇生法

消防署員の方に、心臓マッサージと人工呼吸、AEDの使い方を習いました。いざというとき、救急車が到着するまでの間、心臓マッサージと人工呼吸をひたすら続けることが大事です。



<1月の様子>

鹿児島も大雪

2月6日、今年2度目の積雪でした。南国鹿児島で1月に続き、昼間でも雪が降っていました。雪合戦をしたり雪だるまを作ったりした生徒もいました。雪景色の学校も新鮮でした。

【2月・3月の主な教育活動】

- 【2月】February 如月
 - 20日(火) PTA理事会
 - 21日(水) スクールカウンセラー来校(午前)
 - 22日(木) 読み聞かせ
 - 26日(月) 朝の声かけ運動(1-2) スクールカウンセラー来校(午後)
 - 27日(火) 1・2年授業参観・PTA 学校関係者評価委員会
- 【3月】March 弥生
 - 1日(木) 1年平和学習, 2年立志の集い
 - 2日(金) 朝の声かけ運動(1-2)
 - 5日(月) 教育相談(~9), 青少年地域育成懇談会
 - 6日(火) 公立高校入試(~7日), 2年クラスマッチ
 - 7日(水) 1年クラスマッチ, 教育相談
 - 8日(木) 3年クラスマッチ, 教育相談
 - 9日(金) 教育相談, 3年血液教室
 - 10日(土) 土曜授業, クリーン作戦
 - 11日(日) 市生涯学習フェスティバル
 - 12日(月) 卒業式予行, 準備
 - 13日(火) 卒業式
 - 14日(水) 公立高校合格発表
 - 15日(木) 青パトの日
 - 23日(金) 修了式
 - 26日(月) 辞任式, PTA小中合同送別会